
学術情報リテラシーにおける リソースとは

- 「CiNii: 論文情報ナビゲータ」を例にして -

平成19年度学術情報リテラシー教育担当者研修

国立情報学研究所
阿藪品 治夫

内容

- 本日の目的
- CiNiiの概況
- CiNiiのユーザとは
- リテラシー教育に望むこと
- おわりに

本日の目的

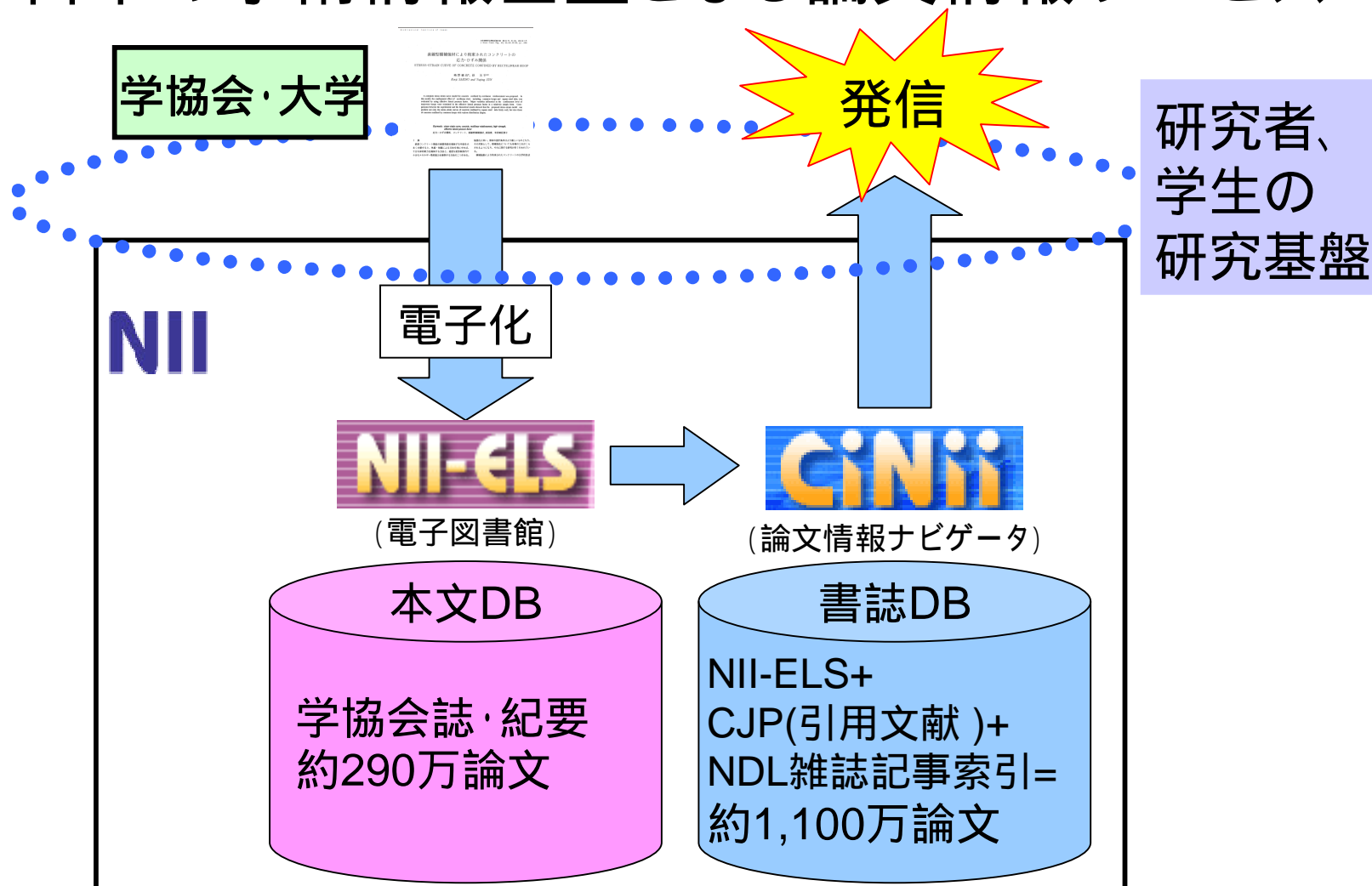
- 目的その1 CiNiiそのものを知る
 - 何者なのか, どう料理できるのか,

- 目的その2 CiNiiの使われ方を知る
 - 統計, アンケート, ブログ, etc.

- 目的その3 CiNiiをどう扱うか考える
 - 何をすべきか, する必要がないか,

CiNiiの概況 (全体像)

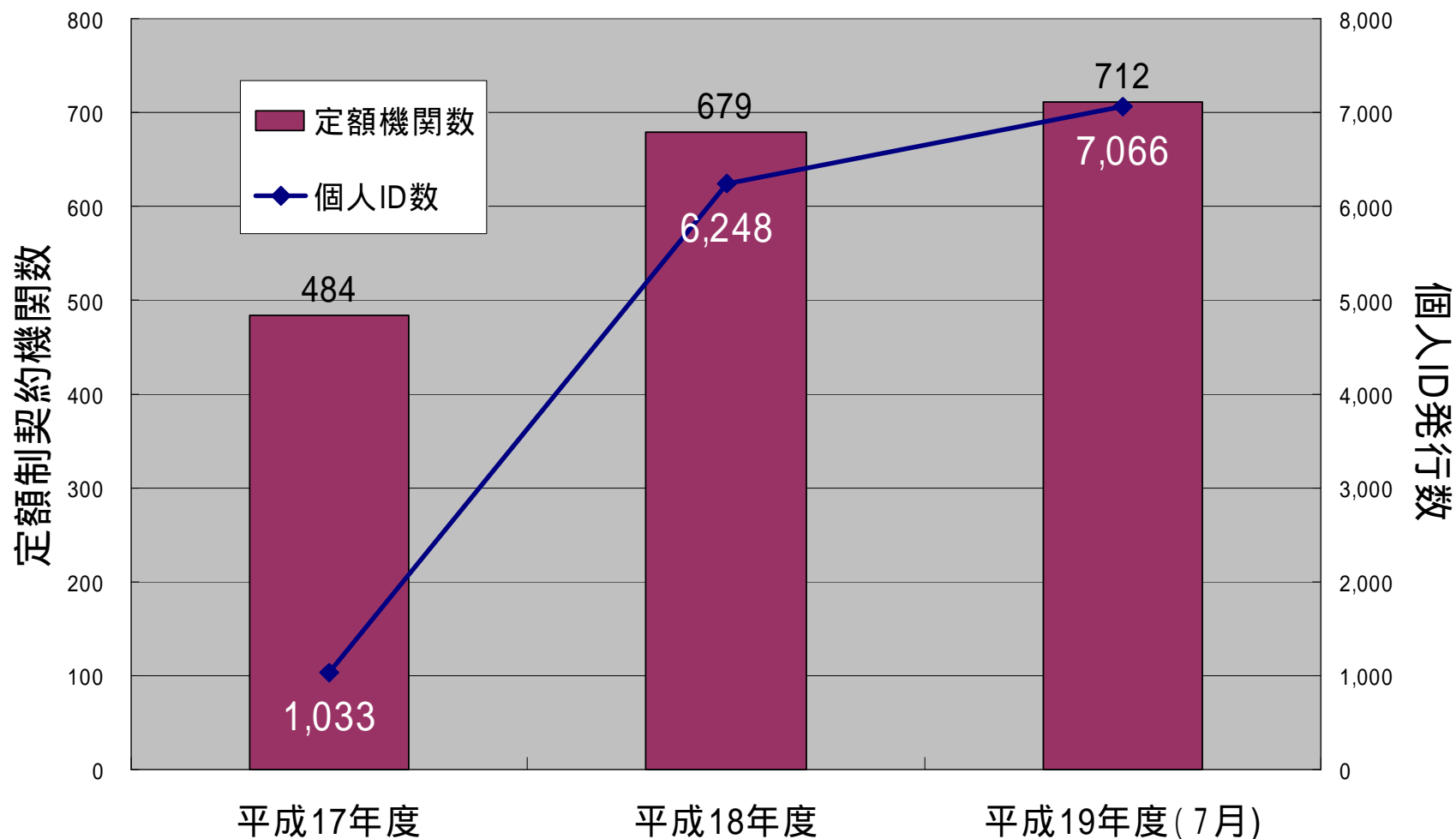
日本の学術情報基盤となる論文情報サービス



CiNiiの概況(契約機関数, 個人ユーザ数の推移)

□ 平成19年7月現在の登録状況

- 定額制契約機関数 712機関
- 個人ID発行数 7,066名 サイトライセンス個人ID含む



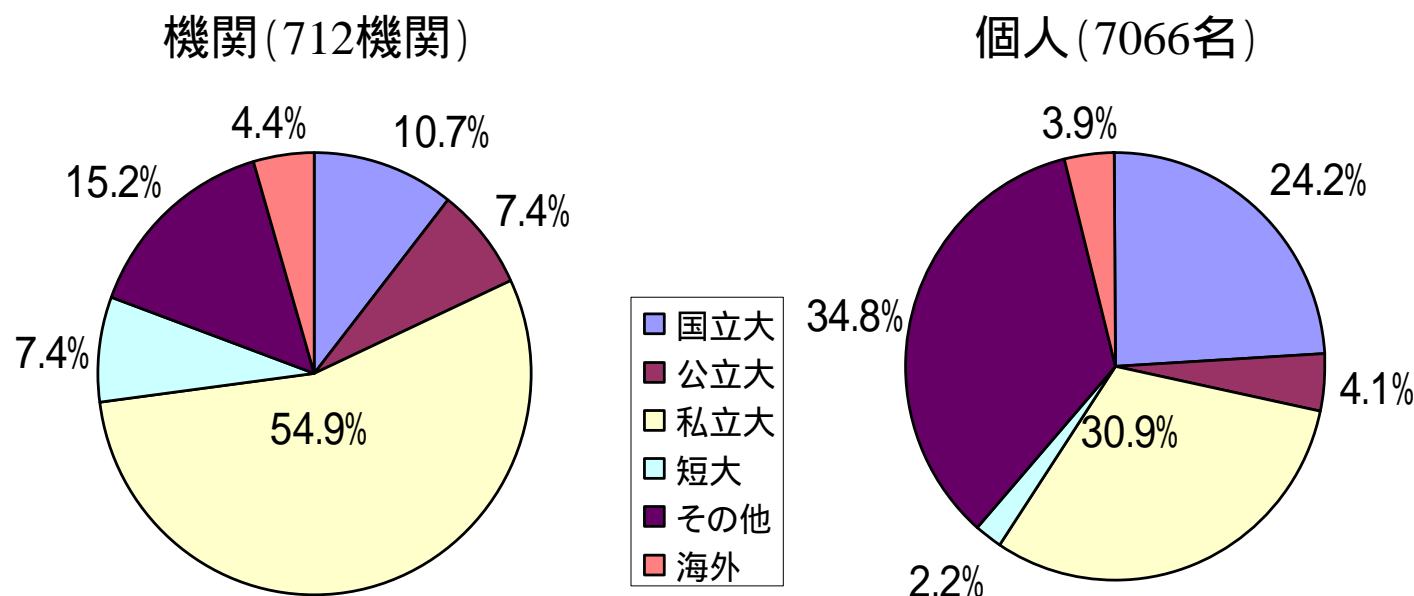
CiNiiの概況 (契約機関, 個人ユーザの内訳)

□ 機関の内訳

- 7割以上が国内の大学等。半数以上が私立大学。

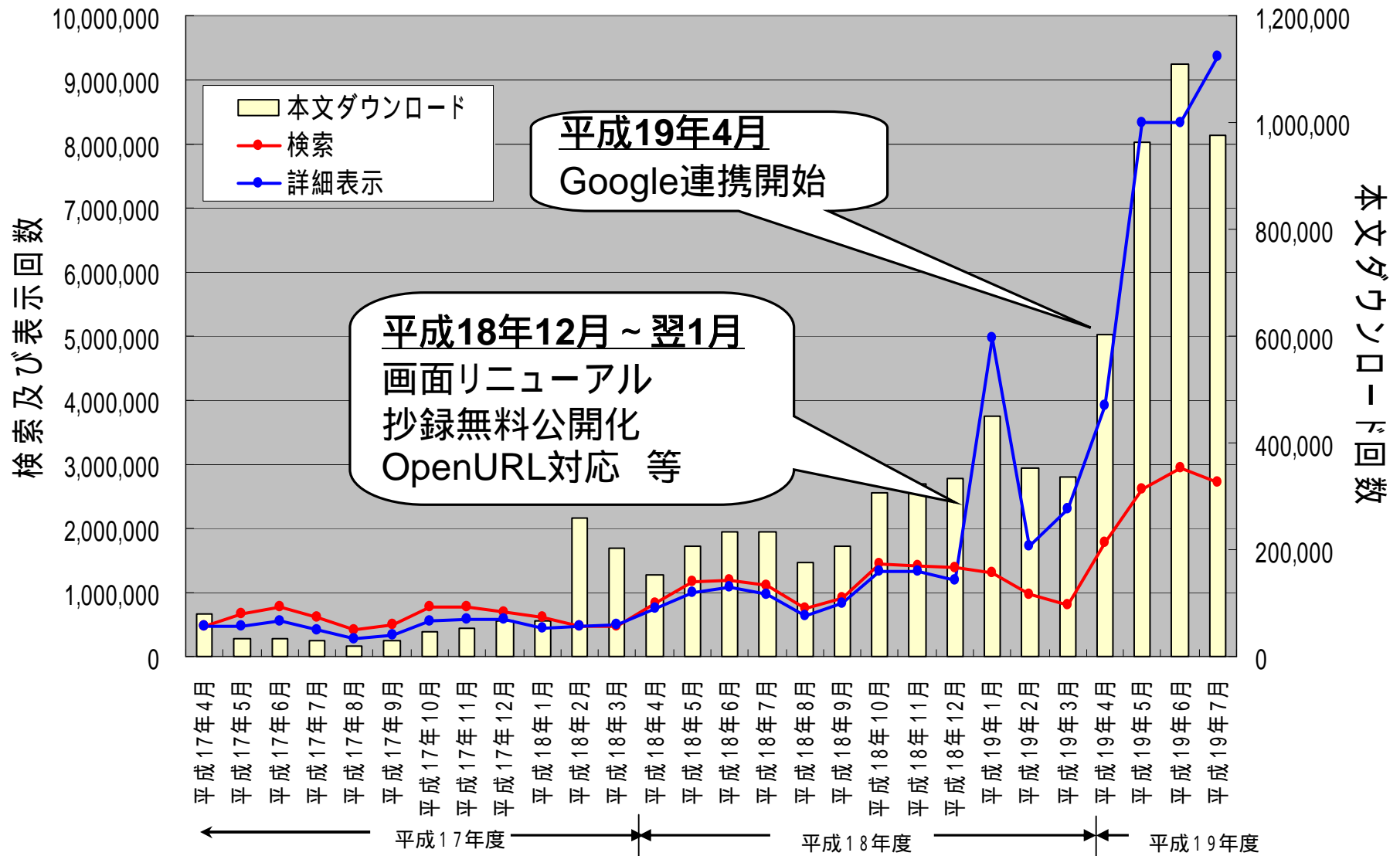
□ 個人の内訳

- サイトライセンス個人ID: 各大学の研究者等。
- 個人ID: 定額制未導入の大学, 自治体, 企業等の研究者等。



平成19年7月末現在

CiNiiの概況 (利用傾向)



CiNiiの概況 (利用数増加の要因)

□ Google連携

- 4月以降, 一般Webユーザからの膨大なアクセス。
- その大半は, Google及びGoogleScholarの検索結果から「無意識に」CiNiiにアクセスするケース。
- 定額制契約機関からのアクセス数を追い越す勢い。

□ 各大学での利用促進活動

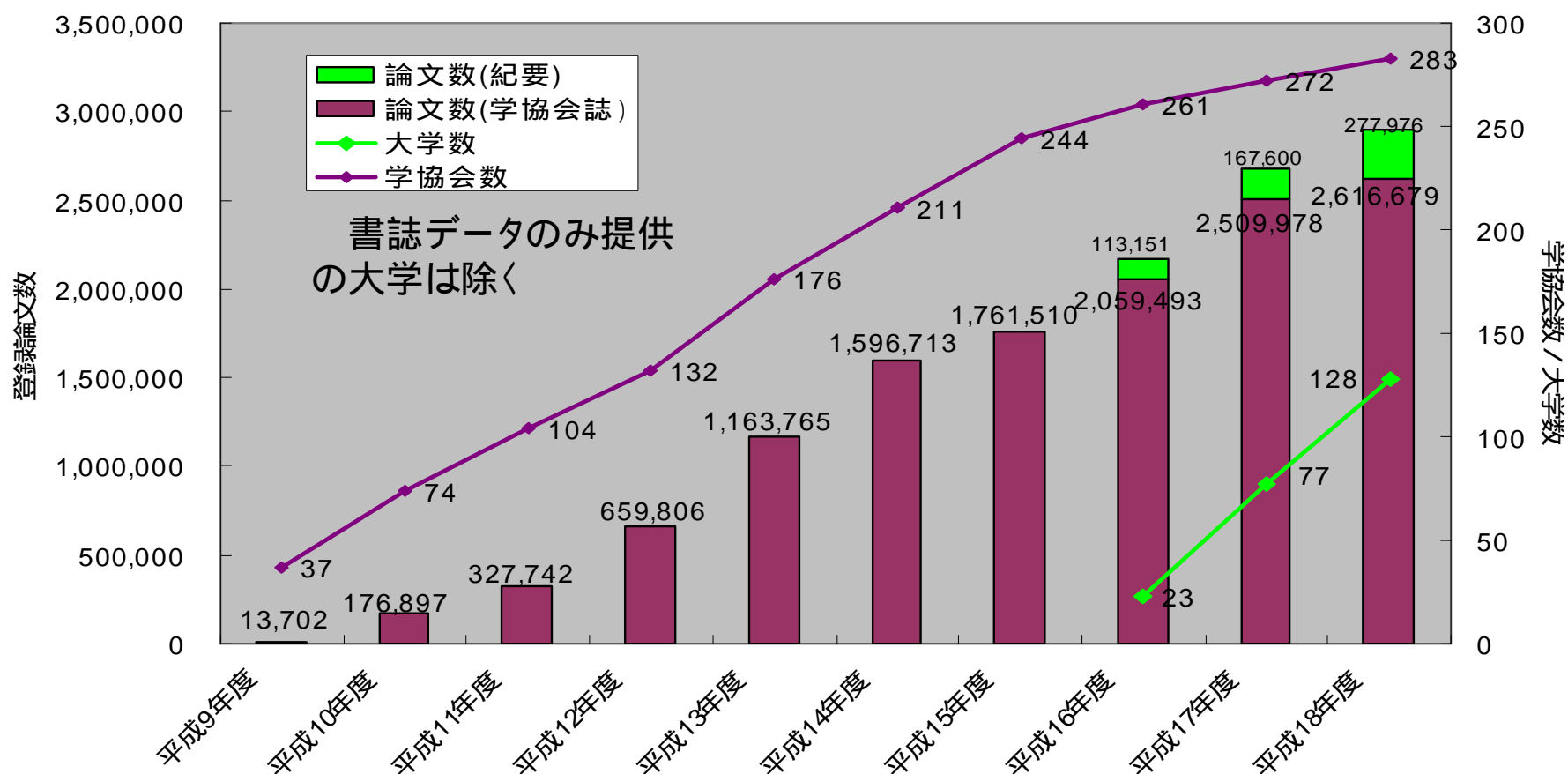
- 利用教育, 図書館ホームページでの案内が学内に浸透。
- 全国の大学から講習会でのCiNii利用が集中

□ 画面リニューアル等のCiNii新機能追加

CiNiiの概況 (本文データへのリンク状況)

□ 学協会誌 + 紀要で約290万論文にアクセス可

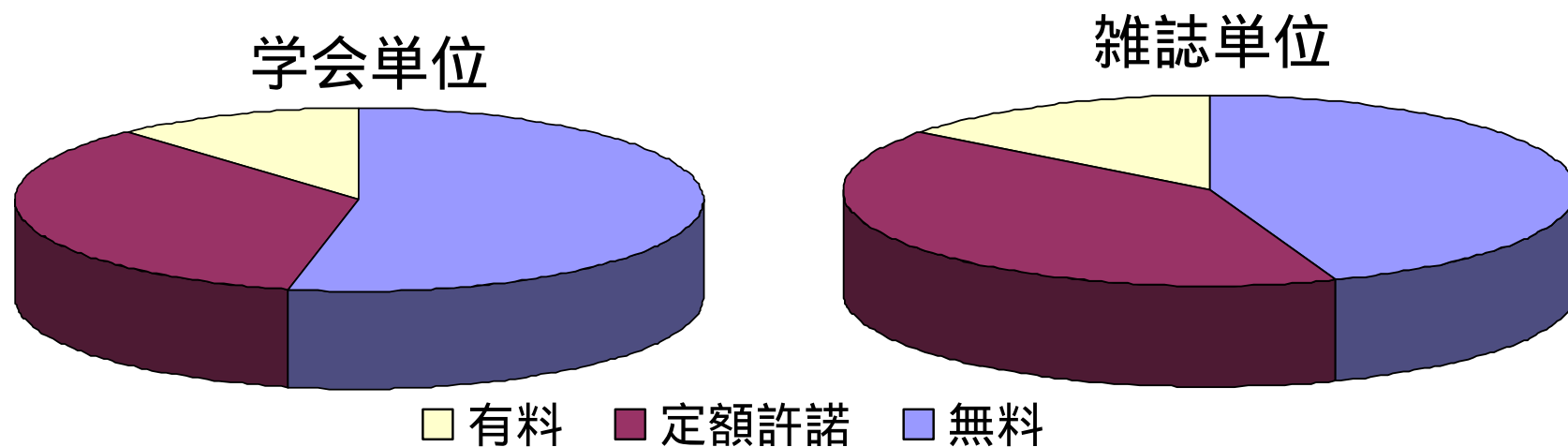
- NACSIS-ELS開始以来, 10年間で蓄積。
- CiNii提供の書誌情報(1100万件)の約3割にあたる。



CiNiiの概況 (本文データの提供条件)

□ 約半数の本文データは無料提供

- さらに定額契約により, 本文データの大半が個人の課金なしで利用可能となる



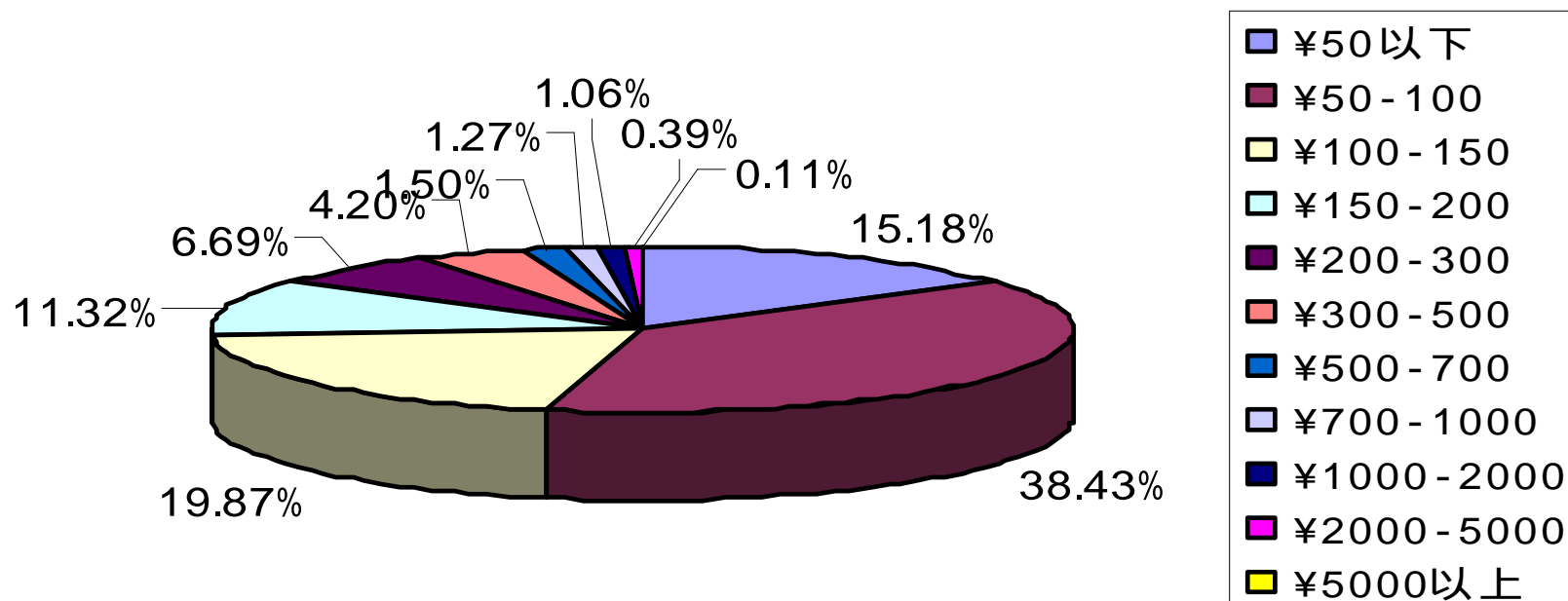
	学会単位	雑誌単位
無料	174	437
機関定額許諾	114	405
有料	38	143

平成19年6月30日集計

CiNiiの概況 (定額契約分コンテンツの利用単価)

□ 1論文当たりの平均単価

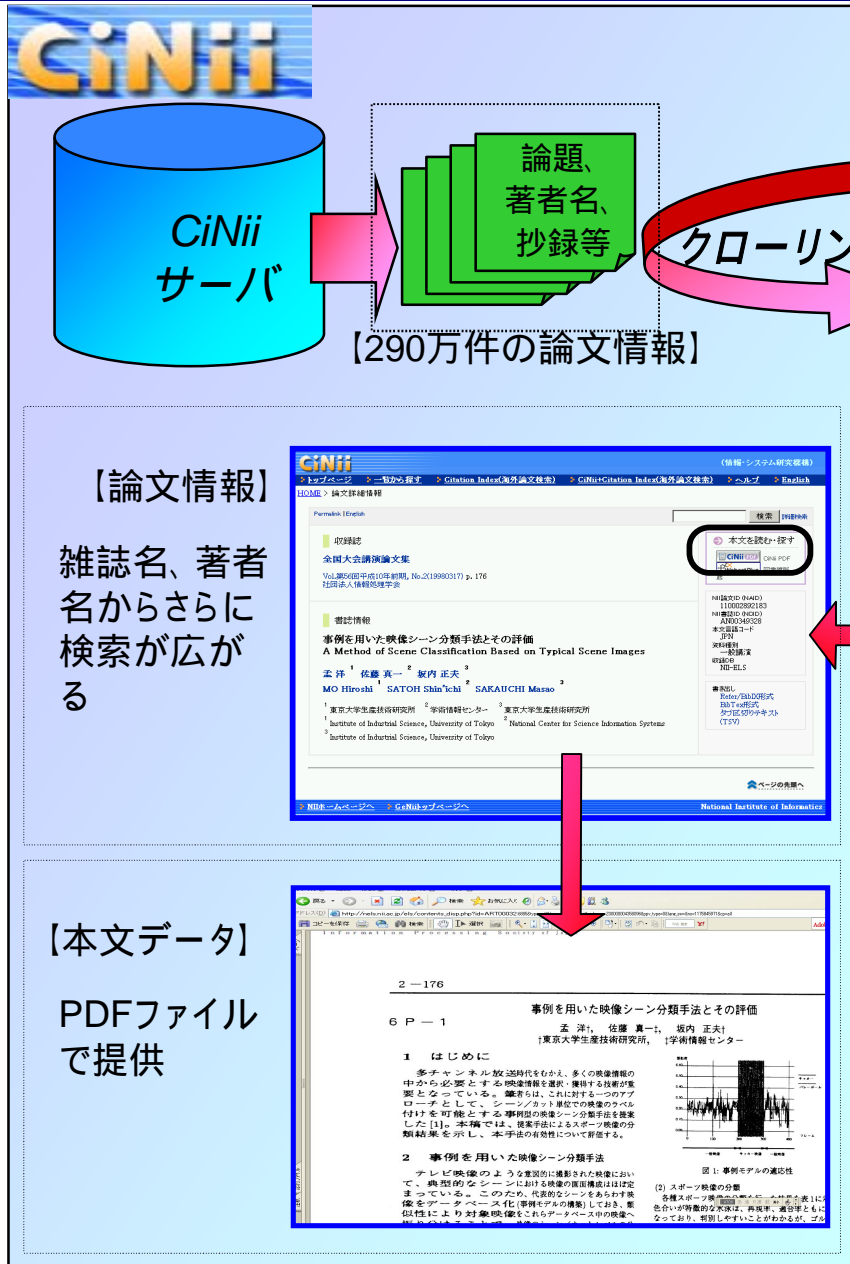
- 全機関平均 167円
- 大規模大学平均(契約額105万円/年) 89円
- 全体の70%以上が、1論文あたり150円以下で利用



CiNiiの概況 (新しい機能)

- 詳細表示画面のリニューアル
 - 詳細表示画面を見やすく一新
 - 抄録の無料公開
 - 固定URL (ベースURL + 論文ID) で表示可能 (Permalink)
- Google連携
 - 本文を持つ290万論文をGoogleクロール対象
 - Google及びGoogleScholarをアクセス窓口として活用
- 図書館システムとの連携 (定額契約機関向け)
 - OPAC連携
 - リンクリゾルバ連携
 - OpenURLの発信
 - OpenURLの受信
 - 他
 - 文献管理ソフトウェアへのデータ送信
 - 電子ジャーナルリスト (AtoZリスト) 用のELS収録誌リスト提供 等
- 利用統計のオンライン提供 (定額契約機関向け)
 - 5種類の月次統計 (雑誌毎の利用回数等)
 - COUNTER監査依頼中

CiNiiの概況 (Google連携)



Google Scholar BETA

坂内 正夫 佐藤 真一

Scholar 検索オプション
Scholar 設定
Scholar ヘルプ

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

Scholar すべての記事 最近の記事

坂内 正夫 佐藤 真一の検索結果 49 件中 1-49 件目 (0.03 秒)

すべての検索結果

佐藤真一
坂内正夫
孟洋
近藤博仁
山岸史典

[CITATION] テロップ認識と顔照合を統合したニュース映像中人物の自動索引付システム
近藤博仁, 孟洋, 佐藤真一, 坂内正夫 - 電子情報通信学会 総合大会, 1999
引用元 3 - 関連記事 - ウェブ検索 - BibTeXに取り込む

[CITATION] 大規模映像アーカイブにおける同一映像断片探索の高速化
山岸史典, 佐藤真一, 浜田喬, 坂内正夫 - 2002 - 画像ラボ
引用元 2 - 関連記事 - ウェブ検索 - BibTeXに取り込む

[CITATION] 事例画像を用いたシーン分類による映像索引
孟洋, 佐藤真一, 坂内正夫 - 第 5 回信学知能情報メディアシンポジウム論文集, 1999
引用元 1 - 関連記事 - ウェブ検索 - BibTeXに取り込む

**CiNiiデータ
がヒット!**

事例を用いた映像シーン分類手法とその評価
孟洋, 佐藤真一, 坂内正夫 - 全国大会講演論文集 - ci.nii.ac.jp
... 書誌情報 事例を用いた映像シーン分類手法とその評価 A Method of Scene Classification Based on Typical Scene Images. 孟洋 1 佐藤 真一 2 坂内 正夫 3. MO Hiroshi 1 SATOH Shinichi 2 SAKAUCHI Masao 3. 1 東京大学生産技術研究所 ...
引用元 1 - 関連記事 - キャッシュ - ウェブ検索 - BibTeXに取り込む

状態遷移モデルによる地図の理解
佐藤真一, 大沢裕, 坂内正夫 - 全国大会講演論文集 - ci.nii.ac.jp
... Vol. 第39回平成元年後期, No.1(19891016) pp. 509-510. 社団法人情報処理学会 書誌情報
状態遷移モデルによる地図の理解 Understanding of Map using State Transition Model.
佐藤 真一 大沢 裕 2 坂内 正夫 3. Satoh Shin'ichi 1 Oosawa Yutaka 2 Sakauchi ...
キャッシュ - ウェブ検索 - BibTeXに取り込む

図面理解システムのための人間機械協調を用いたルール生成支援手法
佐藤真一, 孟洋, 坂内正夫 - 学術情報センター紀要, 1996 - ci.nii.ac.jp
A new method of understanding rule generation for drawing image understanding systems using man-machine cooperations is presented. We have proposed a drawing understanding system using state transition models to realize multi-purpose

CiNiiの概況

図書館システムとの連携例 : CiNii OPAC 本文(現物)

CiNii 検索結果

1. [40015432350] 気谷 陽子
「学術情報システム」の総体としての蔵書における未所蔵図書が発生
日本図書館情報学会誌 53(2) (通号 170), 103~121, 2007/6 (ISSN 13448668) (日本図書館情報学会 編/日本図書館情報学会)
■収録データベース: NDL
■本文: なし **NII-OPAC**

2. [40015432349] 藤本 亨
NEA・ALA合同委員会報告書(1949)における学校図書館サービスの原則-学校と公共図書館と
日本図書館情報学会誌 53(2) (通号 170), 90~102, 2007/6 (ISSN 13448668) (日本図書館情報学会 編/日本図書館情報学会)
■収録データベース: NDL
■本文: なし **NII-OPAC**

3. [40015432348] 中村 仁美, 南部 志緒

CiNii 詳細表示

収録誌
日本図書館情報学会誌
Journal of Japan Society of Library and Information Science
Vol.53, No.2 (2007/6) (通号 170) pp. 103~121
日本図書館情報学会 ISSN 13448668

書誌情報
「学術情報システム」の総体としての蔵書における未所蔵図書が発生
Outbreak of materials those are not currently available through the scientific information system in Japan
気谷 陽子 1

本文を読むには
NII-OPAC OPAC等
Webサイト

収録誌
NII-OPAC
40015432350
NII-OPAC
P011323506
本文言語コード
JPN
NII-OPAC
0674004100
NII-OPAC
ZUS蔵書: 図書種-1 総年振
- 図書種-ドキュメンテーション
本文書種
NII-OPAC
Z21-133
収録誌
NDL

以下の条件で検索しました。
選択資料: 全資料、和洋種別: すべて
ISBN / ISSN: 13448668
検索結果一覧: 1 件ヒットしました

検索結果ページ: 1

雑誌
1. 日本図書館情報学会誌 / 日本図書館情報学会編集 --- 1999

ベースURL + ISSN
(例)
<http://example.com/search?isn=0123456X&display=01>

現物入手

OPAC(情報研)の画面例

各大学が管理者メニューでOPACのベースURLとアイコンを設定

1 2 3 機関で設定済

CiNiiの概況

図書館システムとの連携: CiNii リンクリゾルバ 本文(電子、現物)

CiNii 検索結果

23. [キツネザル類はどのように分類されてきたか](#)
霊長類研究 22(2),97~116,2006/12(ISSN 09124047) (日本霊長類学会 [編]/日本霊長類学会)
■収録データベース: NDL
■本文: なし [Link](#) [Link](#) [OPAC](#)

24. [40015223136]船橋,新太郎
[注意欠陥多動性障害と動物モデル](#)
霊長類研究 22(2),85~96,2006/12(ISSN 09124047) (日本霊長類学会 [編]/日本霊長類学会)
■収録データベース: NDL
■本文: なし [Link](#) [Link](#) [OPAC](#)

CiNii 詳細表示

霊長類研究
Primate research
Vol.22, No.2 (2006/12) pp. 97~116
日本霊長類学会 ISSN09124047

書誌情報
キツネザル類はどのように分類されてきたか
相見 満 小山 世詞

本文を読む
[Link](#) [Link](#) [OPAC](#) [Webcat Plus](#)

N編目ID (NAD) 40015223137
N編目ID (NCID) AN110080557
本文言語コード JPN
NII 種別記号

リンクリゾルバの中間窓

S·F·X

Title: キツネザル類はどのように分類されてきたか
Source: 霊長類研究 [0912-4047] 相見 yr:2006 vol:22 iss:2 pg:97 -116

Basic

Full Text
Full text available via **J-STAGE Free**
Year: 2006 Volume: 22 Issue: 2 Start Page: 97 [GO](#)

Holding information

Holdings in **NDL Japanese Periodicals Index** [GO](#)
Holdings in **NDL-OPAC** [GO](#)
Holdings in **NII Webcat Plus** [GO](#)
Holdings in **図書館の電子ジャーナルリスト** [GO](#)

Advanced

OpenURL (例)

`http://URL/?atitle=XXX&volume=XX?issue=XX&date=XX&spage=XX&issn=XX&title=XX`

本文提供ベンダへのリンク
(この例ではJ-STAGE)

本文が無い場合
(OPAC、Webcat、ILL等)

S·F·X(筑波大) の画面例

各大学がCiNii管理者メニューでリゾルバのベースURLとOpenURLバージョンを設定
CiNiiからリゾルバに書誌情報をOpenURL形式で渡す。

58機関で設定済

CiNiiの概況

図書館システムとの連携: 外部DB等 リゾルバ CiNii本文データ

GoogleScholar検索結果

Search results for '情報セキュリティの社会技術序説' (Introduction to the Social Design Approach to Information Security) by Syun Tutiya et al. The snippet shows the title, authors, and a link to the full-text PDF at Kyushu University. A red circle highlights the 'Full-Text @ Kyushu Univ.' link.

九大へのリンク設定必要

リンクリゾルバの中間窓

The LinQ interface shows search criteria for the article. Under 'Full-text via Online', the 'Journal' link is circled in red. Below, 'Alternative Full-text Search' lists Google Scholar, OAIster, and Google. A red arrow points from the 'Journal' link to the CiNii article page.

きゅうとLinQ(九大)の画面例

各大学で導入したリゾルバのターゲットとしてCiNiiを選択

The CiNii article page displays the title, authors, and a '本文PDF' (Full-text PDF) link. A red arrow points from the 'Full-Text @ Kyushu Univ.' link in the Google Scholar snippet to this PDF link.

OpenURL (例)

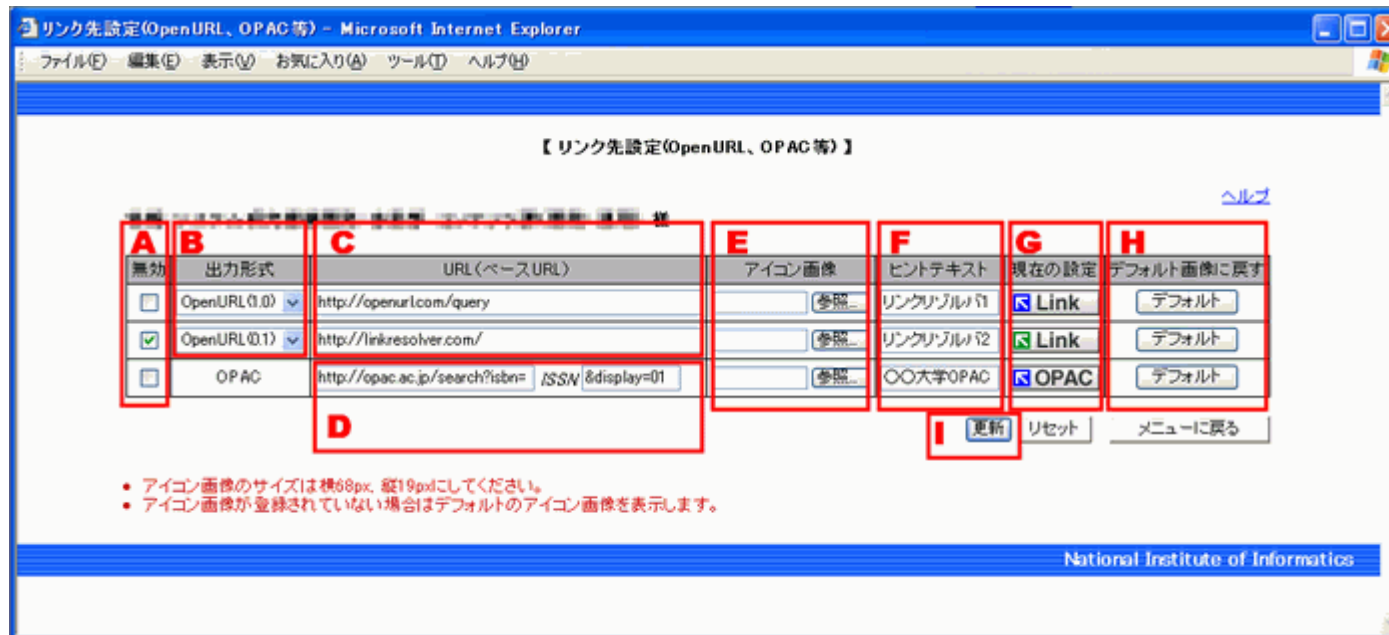
`http://URL/?atitle=XXX&volume=XX?issue=XX&date=XX&spage=XX&issn=XX&title=XX`

本文が無い場合
(OPAC、Webcat、ILL等)

主要リンクリゾルバ
で対応済

CiNiiの概況

(OPAC連携, OpenURL(発信)の設定は簡単)



□ 設定方法

- 定額制管理者画面(お手続き画面)から入り, URL, アイコン画像, ヒントテキスト等を設定。
- 最大3リンクまで設定可。

CiNiiの概況 (利用統計)

5種類の利用統計

- 機関の管理者メニューから簡単に確認可能
- COUNTERのR2(Release 2 of the COUNTER code of Practice for Journals and Databases Apr. 2005)の基本4統計 + 1 = 計5種類の統計
 - (1)Journal Report 1 - 雑誌ごとの本文利用数
 - (2)Journal Report 3 - 雑誌ごとの利用数(ページ種別内訳付き)
 - (3)Database Report 1 - データベースごとの検索数
 - (4)Database Report 3 - サービスごとの検索数
 - (5)雑誌ごとの提供条件別(無料、定額許諾、有料)利用数



(5)の表示例

表示順(提供条件別) 本文利用数降順)

雑誌名	JRID	COUNTER ISSN	Print ISSN	合計	無料	定額	有料	提供条件別			
								合計	無料	定額	
				29761	964	9114	0726	0	9220	0660	0
経産省	AND0133999		09877940	084	7	254	42	0	42	91	0
日本学術会議紀事	AND0133988		00111848	032	4	14	181	0	181	82	0
国土交通	AND0149254		00413790	425	7	184	47	0	47	11	0
日本建築学会計画系論文集	AND0489549		18404270	070	12	72	188	0	188	189	0
ランドスケープ研究: 日本造園学会誌: journal of the Japanese Institute of Landscape Architecture	AND0489585		18408064	265	2	8	40	0	40	30	0
日本建築学会論文集	AND0195779		02985640	274	0	0	140	0	140	0	0
日本造園学会論文集	AND0489582		18404232	062	8	92	160	0	160	105	0
建築雑誌	AND0094227		00089876	701	0	182	84	0	84	9	0
日本建築学会論文集	AND0198787		02989070	247	0	2	63	0	63	84	0
日本建築学会論文集	AND0193822		00215607	448	6	111	90	0	90	80	0
建築雑誌	AND0094226		02989032	330	1	231	14	0	14	4	0
建築雑誌	AND0087288		03729881	215	7	20	81	0	81	33	0
日本建築学会論文集	AND0130833		00187430	166	2	6	82	0	82	83	0
学術雑誌掲載誌 F-1, 都市計画, 建築経済, 住宅問題, 建築歴史・遺産	AND0144883		00100101	89	0	8	8	0	8	0	0
日本学術会議論文大会録別冊要旨	AND1887181			178	1	6	97	0	97	0	0
学術雑誌掲載誌 計画系	AND18871261			69	1	2	26	0	26	0	0
学術雑誌掲載誌 F-1, 都市計画, 建築経済, 住宅問題	AND0487002		18414634	97	2	0	82	0	82	0	0

CiNiiの概況 (今後の予定)

□機能改善

- レスポンスの安定化
- 国内IRのメタデータ(論文等)の収録
- CrossRef, NII-REOとのリンク
- 他機関, システムとの連携推進

□サービスの見直し

- Citation Indexの提供終了(平成19年度末予定)
- 個人ユーザ(個人ID, サイトライセンス個人ID)の料金支払方法をクレジットカードに一本化(平成20年度中予定)
 - 現行は銀行口座振込とクレジットカードのいずれかを選択

CiNiiのユーザとは

H18年度「ユーザビリティ調査」結果(別紙参照)

- 「固定客」は大学関係者
 - 研究者 + 学生 + 院生で全体の半数以上か
- 文系ニーズの高さ
 - 他に頼るDBが無い?
- 欲しいのは本文データ
 - あって嬉しいのは本文、無くて困るのも本文
 - 無料であればなお嬉しい。
- その他
 - 使われない機能
 - 煩雑な登録手続き

CiNiiのユーザとは

H19年4月, Google公開以降のユーザ傾向

- 「不意の客」増加
 - CiNiiのトップページを経ないユーザの増加。
 - 一般人の利用増？ (サイト内利用: 一般利用 = 1:1)
 - 無料利用(身銭を切らない)範囲での利用が大多数

- ブログでの評判
 - 感謝 こんなサイトあったのか・卒論でゼミで活用
 - お叱り 遅い・データが汚い・本文少ない
 - 誤解 完全有料サイト・GoogleScholarで見える分が全て

【実例紹介】

こういった層にも広く支えられていることを十分認識。

リテラシー教育に望むもの

□理想的には案内不要のCiNiiでありたい

- 誰もが知ってるその名前
- 見れば使えるインタフェース
- マニュアルもヘルプも要らないサイト

□でも、当面はリテラシー教育をお願いします

- ユーザの過半数は大学関係者
- サイトの存在そのもの、無料で使えること、Googleでもヒットすること 前提知識があれば、世界が尚広がる。
- 1度でいいので脳裏に焼き付けてもらえれば。
「あぁ、この画面はあの時見たアレだ。」
- プロの視点で最小限の仲介を。

おわりに

- 図書館員の声
- 図書館に届くエンドユーザの声
- 図書館に届かないエンドユーザの声
 - NIIに直接届く声
 - 世間に直接公表される声
 - 表に出てこない「声なき声」